

令和6年8月13日



担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 20歳代 女性
届出年月日	令和6年8月8日
経過	<p>7月30日（火）腹痛 8月2日（金）下痢、腹痛 医療機関受診 受診後夜間血便</p> <p>8月3日（土）血便 再度医療機関受診 検便 8月8日（木）検便の結果 O157ペロ毒素（+） 主治医から届出</p> <p>現在、症状は治まっています。</p>

プライバシーの保護については、十分なお配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和6年8月13日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和6年	8名（2名無症状者含む）	15名（7名無症状者含む）	本患者含む
令和5年	15名（3名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	
令和4年	14名（6名無症状者含む）	16名（6名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生しますが、特に夏季に多い感染症です。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が大切です。
- ・特に、小さなお子さんや高齢者、抵抗力が弱い方は重症化しやすいので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないように気をつけましょう。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。